

[野菜部門 平成 30 年度 指導参考資料]

事項名	夏秋ミニトマト「サンチェリーピュア」における摘花房処理の効果		
ねらい	<p>夏秋ミニトマト産地では、単価の安い7月下旬から8月中旬に出荷が集中して収穫や調整・出荷作業に多くの労力を要すること、また、この時期の着果過多により高単価が期待できる9月以降に収量低下や小玉化しやすいことが問題となっている。</p> <p>そこで、主力品種の「サンチェリーピュア」において、摘花房処理による夏季の収穫ピークの軽減と秋季の収量性の向上について明らかにしたので、参考に供する。</p>		
指導参考内容	<p>1 摘花房処理の方法</p> <p>摘花房処理は6月20日頃に行い、着果前の開花花房とその1段上の花房を、2段連続ですべて切除する。</p> <div data-bbox="384 667 1054 1205" style="text-align: center;"> </div> <p>2 摘花房処理の効果</p> <p>(1) 7月下旬から8月中旬は、可販果数が3～4割程度減少し、可販果収量も2～3割程度減少することから、収穫や調製・出荷作業の軽減が期待できる。</p> <p>(2) 9月以降の可販果は、果数が2～3割程度増え、1果重が同程度かやや重くなり、収量が2～3割程度増加する。</p> <p>(3) 販売金額は、摘花房処理しても大きな差はない。</p>		
期待される効果	津軽地域のミニトマト産地において、「サンチェリーピュア」の収穫、調整・出荷作業の平準化のための栽培技術として活用される。		
利用上の注意事項	農林総研の試験結果は、側枝2本仕立ての自根苗を定植してNターン誘引により栽培した結果である。		
問い合わせ先(電話番号)	中南地域県民局地域農林水産部農業普及振興室 (0172-33-2903) 農林総合研究所施設園芸部(0172-52-2510)	対象地域及び経営体	県下全域のミニトマト作付経営体
発表文献等	平成28年度 普及指導員調査研究結果概要書(野菜) 平成29年度 試験成績概要集(農林総合研究所)		

【根拠となった主要な試験結果】

表 1 摘花房処理が可販課収量に及ぼす影響 (大鰐町)

(平成 28 年 中南地域県民局)

項目	摘花房 処理	7月		8月			9月			10月			合計、 平均
		中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
果数 (個/株)	あり	6.4 (110)	29.2 (82)	45.0 (74)	29.6 (68)	42.8 (165)	11.6 (121)	24.8 (188)	5.4 (79)	2.8 (74)	11.0 (262)	1.2 (21)	210 (97)
	なし	5.8	35.6	61.0	43.6	26.0	9.6	13.2	6.8	3.8	4.2	5.8	215
1果重 (g)	あり	14.9 (116)	15.9 (104)	16.0 (114)	14.1 (119)	12.3 (121)	12.5 (153)	11.8 (100)	12.2 (97)	10.2 (92)	9.2 (73)	10.0 (73)	13.6 (107)
	なし	12.9	15.3	14.1	11.8	10.2	8.2	11.8	12.5	11.1	12.6	13.6	12.7
収量 (kg/10a)	あり	210 (128)	1,023 (86)	1,583 (84)	917 (81)	1,158 (199)	319 (184)	646 (189)	144 (77)	63 (68)	224 (192)	26 (15)	6,313 (104)
	なし	164	1,195	1,886	1,132	581	173	342	188	93	116	174	6,043

(注) 1 果実の重さが5g以上25g未満のものを集計

2 摘果房処理「あり」の()内の数値は対「なし」比

【大鰐町の耕種概要】

品種: 台木「Bバリア」、穂木「サンチェリーピュア」

定植: 5月15日

摘花房処理: 6月24日。第5花房、第6花房を切除

栽植様式: 主枝1本仕立て。栽植密度2,200株/10a。斜め誘引後、Uターン誘引

表 2 摘花房処理が可販課収量に及ぼす影響 (農林総研)

(平成 28 年 青森農林総研)

項目	摘花房 処理	7月			8月			9月			10月			合計、 平均
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
果数 (個/枝)	あり	3.5 (72)	20.3 (147)	18.3 (79)	16.2 (41)	25.7 (82)	36.3 (104)	34.1 (125)	23.2 (153)	26.6 (141)	9.1 (59)	6.3 (74)	9.0 (113)	229 (95)
	なし	4.8	13.8	23.2	39.5	31.5	34.8	27.2	15.1	19.0	15.5	8.6	8.0	241
1果重 (g)	あり	16.1 (112)	16.3 (100)	17.6 (98)	18.1 (106)	17.5 (111)	15.9 (107)	14.0 (103)	14.0 (104)	13.1 (97)	12.8 (101)	15.2 (103)	15.2 (99)	15.5 (102)
	なし	14.3	16.2	17.9	17.0	15.8	14.9	13.6	13.5	13.4	12.6	14.7	15.3	15.2
収量 (kg/10a)	あり	125 (81)	735 (148)	717 (78)	649 (44)	996 (90)	1,285 (111)	1,059 (129)	718 (159)	773 (137)	258 (60)	213 (77)	304 (112)	7,858 (96)
	なし	154	498	922	1,489	1,101	1,155	821	452	566	434	279	272	8,143

(注) 1 果実の重さが5g以上25g未満のものを集計

2 摘果房処理「あり」の()内の数値は対「なし」比

【農林総研の耕種概要】

品種: 自根、「サンチェリーピュア」

定植: 5月19日。第1花房開花始め

摘花房処理: 6月20日。第4花房、第5花房を切除

栽植様式: 側枝2本仕立て。栽植密度2,222枝/10a。Nターン誘引

(参考) 販売金額の試算

(平成28年中南地域県民局、平成29年青森農林総研)

年次	場所	摘花房 処理	販売金額(千円/10a)					合計	同左比
			7月	8月	9月	10月	合計		
平成28年	大鰐町	あり	861	2,340	966	266	4,433	105	
		なし	949	2,303	612	326	4,190	100	
平成29年	農林総研	あり	1,101	1,881	2,231	665	5,878	98	
		なし	1,099	2,397	1,603	839	5,938	100	
月平均単価(円/kg)			698	640	872	851			

(注) 1 収量実績と平均単価から算出

2 平均単価は、東京都中央卸売市場における青森県産ミニトマトの平成27～29年の平均値